

き　れ　い　な　空　氣　よ　い　水　を　求　め　て

会報 かれんきょうう

Vol.18



photo : 「三保からの富士(世界文化遺産登録)」静岡市文化財課提供

平成25年度
通常総会開催
環境保全功労者の表彰 …1
講演会 “鳥の渡りと地球環境の保全” …2

環境の日
三保真崎海岸で清掃活動 …3

環境学習 会員親子見学研修会
(有)コマツテクノセンタ
中伊豆ワイナリーシャトーT.S …4

世界文化遺産“富士山”とその湧水 …5

かんきょうにゅーす …7



この会報誌は古紙配合率100%、
白色度70%の再生紙を使用してい
ます。

平成25年度

通常総会

平成25年度 通常総会開催

時：5月9日(木) 於：マナーハウス・エリザベート 3階「チェスター」

平成25年度の通常総会が清水区で開催され、来賓の静岡市議会副議長・田形清信氏、環境市環境創造部長・劍持雅之氏からご祝辞を頂いた。

そして2年振りに環境保全功労者の表彰をさせて頂いた。

尚、下記の4つの提出議案のすべてが原案通り承認、可決された。

報告第1号議案 平成24年度事業報告

報告第2号議案 平成24年度収入・支出決算

審議第1号議案 平成25年度事業計画(案)

審議第2号議案 平成25年度収入・支出予算(案)

講演会終了後の意見交換会は、この部屋の後方で行われ講師の樋口先生も参加をしてくださいました。

こういう機会に異業種の会員同士が交流を深め、枠を越えて経済発展の為に手を携えて協力して頂きたい。



平成25年度 環境保全功労者の表彰

株静岡新聞社 総務局総務センター 馬場 雅様



この度は、静岡市環境保全功労賞を頂き、誠にありがとうございました。

私は、業務としての設備保全、インフラ設備、エネルギー管理業務を通して環境保全に向き合ってきました。その努力を認めていただいたことは、今後仕事をしていく上で大変励みになります。これも偏に、静岡市環境保全推進協力会、関係上司、諸先輩、同僚のご指導とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

受賞に恥じないよう、今後も環境保全に貢献できるよう努めてまいりたいと思います。

平成25年度

通常総会

静岡市環境保全推進協力会

講演会

[演題] 鳥の渡りと地球環境の保全

[講師] 東京大学 名誉教授、慶應義塾大学 特任教授 樋口広芳氏

東京大学名誉教授、慶應義塾大学特任教授の樋口広芳先生を迎えて、「鳥の渡りと地球環境の保全」と題して講演していただきました。樋口先生は、長年にわたって「鳥の渡り」を「科学技術で追跡する」ことに取り組んでおられます。1990年代に入って、衛星を使って鳥の追跡が可能になったことで、「鳥の渡り」の謎が解き明かされたそうで、最新の研究内容を紹介いただきました。

「鳥の渡り」とは、毎年2回、繁殖地と越冬地を行き来することです。先生によると、渡り鳥は減少しているということです。その一例として、サンコウチョウが埼玉県東松山市で80年代に急減したことを紹介。この原因としてスマトラの熱帯雨林が80年代初頭に急激に伐採されたことで、越冬地がなくなったことを挙げられました。このサンコウチョウは、静岡県の鳥として知られていますが、掛川市を中心に、県内では減っていないそうです。理由は不明ですが、おそらく、掛川に来る鳥が越冬のために渡る場所がまだ守られているのではないかーということです。

渡り鳥を衛星で追跡するためには、鳥の背中に5グラムほどの送信機をつけて緯度と経度を知り、コンピューターで管理しているといいます。これは太陽電池式で、複数年で同一個体を追える性能だそうです。

ハチクマ（鷹の仲間）やサシバ（鷹の仲間）の渡りの観察結果については、渡りのルートが吹いている風

や地形などによっての違いがあることや低気圧の接近時には通過を待って渡ることなど、鳥の持つ能力の高さがうかがえることを紹介していただきました。

環境問題の視点では、温暖化について触れ、コハクチョウの越冬数は年々増加傾向であると紹介。日本の越冬地の気温と中継地の気温、ロシアの産卵地の気温すべてが親鳥には影響します。繁殖地の気温が高い年は日本にくる鳥も多くなるといい、繁殖地の気温の上昇は、採食地を広げることにつながるそうです。地面が露出する暖かい冬が続ければハクチョウの個体数は増え、生態系のバランスは壊れることも懸念されるといいます。

渡り鳥はまた、人と人をつなぐ「大きな役割」を果たしているそうです。渡り鳥の観察により、それぞれの飛来地での情報を共有することが様々な交流や保全に向けた国際協力のきっかけになります。同じ鳥の群れを多くの国の人々が見ることで、ネットワークが生まれます。保全を巡って各地で熱い議論が交わされ、1つ1つの場所の環境を大切にするとともに中規模な視点で大切にすることも重要な要素になってくるのです。

具体的な保全への利用としては、経年観察によって判明した渡り鳥の重要な中継地である北朝鮮の3つの中継地は国の保全区に指定されたことや中国の三江平原では開発計画の変更がされたことなどの例にあるように、衛星追跡の結果がネットワーク作りにつながり、行動指針や行動計画の作成に役立っています。

生き物だからこそつながれる—。個々の生態系は独立した存在ではなく、互いに関係しています。繁殖地、中継地、越冬地。それぞれの地域の視点と地球規模の視点での環境整備が大事になってくると樋口先生は強調されました。

(株)静岡新聞社 菅本裕久



三保真崎海岸で清掃活動

(株)清水銀行
牧野守弘



三保の景観と環境を守るために

毎年恒例となった静岡市環境保全推進協力会による清掃活動が、今年は三保真崎海岸において6月8日（土）に実施されました。また大変喜ばしいことに富士山の世界文化遺産登録に三保松原も含まれることになりましたが、この時点では三保松原は構成資産から除外を勧告されており、三保松原の景観を守ろうと5月26日（日）には地元の方を中心に約3,000人が清掃活動をされた後もありました。私も三保松原が世界遺産に登録されるように祈る気持ちで、同じ三保の真崎海岸清掃に参加しました。

当時は54社の会員事業所から931名と大変多くの皆さんのが参加され、晴天にも恵まれ朝から大変暑い中でしたが一生懸命清掃作業に取り組んでいただきました。

今回の清掃作業で回収したごみの量は、可燃ごみが440kg、不燃ごみは120kgでしたが、多くの方が一斉に清掃作業を行うことで短時間のうちに砂浜が本当にきれいになる光景は感慨深いものがあります。これも参加者の皆さんのが暑い中を本当に熱心に活動していただいたことの表れであり、運営委員として今回まだ2回目の参加である私としては、皆さんの環境保全に対する意識の高さに頭が下がる思いで一杯です。

海岸を訪れる人たちは様々な目的を持って来られるでしょうが、ゴミは捨てないで持ち帰り、来た時よりもきれいにして帰るくらいの気持ちがあれば、きっと全く違う景観と環境になっているのでしょう。

今の時代環境においてモラルや道徳的なことは残念ながら薄れないと感じられるので、今後もこのような活動を継続的に行っていく必要があると思います。

各企業においても環境活動への取り組みは色々な形で行われていると思いますが、私も率先して勤務先ほか地元地域社会や市など行政が主催する清掃活動及び環境保全活動に取り組んでいきたいと思っています。



会員親子見学研修会

- ①コマツテクノセンタ
- ②中伊豆ワイナリーシャトー T.S

平成25年8月28日（水曜日）

日中の温度は真夏日を記録しても夜は気温も下がり、虫の泣き声が聞こえてくると秋の気配を感じる。この日も天候に恵まれ研修会日和となつた。18組48名（その他随行2名）が参加し朝早く伊豆市に向けて出発した。

①コマツテクノセンタ

コマツの建設機械のショールーム。

通常の工事現場では見ることのできない超巨大なダンプホイールローダ、油圧ショベル等のデモンストレーションを見ることができた。機械の中にはGPS機能がついていて、運転席に人がいなくても自動で動く建設機械には驚かされた。その後外に出て巨大な建設機械を間近で見学し、安全対策が講じられている機械に乗ったり、運転席に座ったりして通常見たり触った



コマツテクノセンタ

りできない大型建設機械に驚いたり、喜んだりしている子供たちがいた。中には大人も子供と一緒に楽しんでいる姿も見受けられた。

この日が雨の場合、屋根のある限られた場所での見学になり、悪天候だったら中止になっていたが、この日の天候も研修会を後押ししてくれた。

②中伊豆ワイナリーシャトー T.S

給食産業とカラオケで有名なシダックス株のオーナー・志田勤氏が、故郷である伊豆の為に新興産業としてワイナリーを作ることを思い立ったのが始まりだという。

静岡県唯一のワイナリーで、中伊豆の里山に広がる5ha以上の葡萄畠、ワインセラーを見学した。雨の多い伊豆ではレインカットで雨からぶどうを守る工夫が施されていた。

昼食は、ここから車で10分位の所にある、系列のホテルワイナリーヒルで頂いたが、参加者からは「料理がおいしい！」という声を数人から頂いた。大人にはグラスワイン、子供にはカルピスがサービスでついた。

伊豆の大自然に育まれたワインは、通常ワインを苦手にしている私でも、口当たりの良さに仕事でなければ飲みすぎてしまう感があった。

お酒が飲めない子供にはぶどうジュースが好評だった。



中伊豆ワイナリーシャトー T.S



世界文化遺産“富士山”とその湧水

静岡大学名誉教授・理博 土 隆一 氏

三

保の松原とともに世界文化遺産となつた富士山は、その姿をいつどこから眺めても美しい。とりわけ、山頂は標高3776mと日本の最高峰を占めるにもかかわらず、その緩やかな山体と長い裾野は特徴的です。しかも、通常の山体には川や谷が流れていますが、富士山にはそれも見られません。これは富士山が誕生してからまだ10万年しかたっていないことと粘性の小さな玄武岩質火山岩からできているためと思われます。しかも玄武岩質の火山は本州では他には見られません。伊豆大島や三宅島にしか見られないのです。

ところで、富士山麓をめぐると、あちらこちらに沢山の湧水が見られるのに驚かされます。東から、御殿場の明神池、三島の楽寿園小浜池、清水町の国道南側から湧き出す柿田川、富士市内の神社に見られる湧水群、富士宮浅間大社の湧玉池、白糸の滝など、ここで通常の滝は川の水が高い崖の上から落下するものを指しますが、白糸の滝では溶岩の間から湧水が美しい白糸のように噴き出

しているきわめて珍しい滝なのです。そのほかにも富士五湖や忍野八海の湖底にも湧水が知られています。

これらの湧水は、山頂近くで約1万年前に噴出し、御殿場付近を除く富士山の全表面を流下した、厚さ約30mに達する、何層も重なった玄武岩質の“新富士旧期溶岩流”的末端で見ることができます。玄武岩質溶岩流は、噴出時に温度は1200℃にも達するので、中心部はゆっくりと冷えて緻密に固まりますが、表層と下底は急冷してガサガサに破碎されたクリンカー状になるとされています。このような溶岩の構造のため、山麓では降水は溶岩層中に入りにくいのですが、傾斜が急な山体上部では、降水はクリンカーパートに入り込みやすく、山麓の末端から押し出されるように湧き出すと考えられます。そして、水そのものは15年くらいかかるて標高約1000m以上の高さの地下水圧で押し出されるように湧き出す被圧地下水となることが特徴です。このため、山頂近くが大雨になったり、雪解けの時期になると、山麓

では押し出された水が急に湧き出したりすることがあります。

このようにして、三島溶岩流末端の柿田川とその周辺、富士宮溶岩流末端の湧玉池、白糸溶岩流末端の白糸の滝など、富士山麓一帯に数多くの湧水が見られることになります。

では富士山には雨や雪はどのくらい降るのでしょうか。私も測ってみようと思いましたが、それはとても無理でした。なぜなら、富士山では雨は上から降ってくるというより、下から吹き上げてくるのです。富士山の降水量は、気象庁によると東麓の御殿場では年平均 2835mm、ついで西麓の白糸で 2275mm、南麓の吉原で 2098mm、北麓の河口湖では 1565mm となっています。山体の降水量については、もと山頂にあった気象観測所の所長をしておられた藤村郁夫氏が同僚と共に数年間にわたって降水量観測を試みられ、結果を出されています。それによると、富士山の降水量は年 21 億トンと見積もっておられます。そして東麓の太郎坊の降雨が年 4849mm と最も多いとされています。

では、雪はどのくらい積もるのでしょうか。山頂の気象観測所では昭和 33 年から平成 16 年まで 47 年間にわたって観測されてきましたが、そ



白糸ノ滝
(茨木雅子博士による)

れによると、昭和 39 年の 39cm から平成元年の 338cm と平成年代に向かって全体として多くなっています。そして、高積雪の年は御殿場でも雨の多い年になっています。1 年の山頂の積雪の経過を見ると、8 月下旬から積雪がはじまり、翌年の 4 月下旬が最も多く、7 月下旬には消失しています。

このように富士山には沢山の雨や雪が降り、山麓にはあちらこちらに湧水があるために富士山は“水の山”といわれるようになったと思われます。

これら湧水の水温は 12 ~ 15°C、また涵養量については、西側斜面の湧水が流入すると考えられる芝川、潤井川の流量観測をした結果、富士山全域の年降水量 21 億トンから日量約 500 万トンと推定されました。これは柿田川の流量の 4 倍近い値となります。

富士山の裾野で田に水を使っている人に聞くと、富士山の水は雨が多い年でも雨のほとんど降らない年でも、水量も水温も殆ど変わらず、とても有難いといわれます。このように、富士山を眺める人にはその山の形の美しさに感動を与え、周辺で生活する人には常に豊かできれいな水を与えてきた特筆すべき山と考えることができます。今後は富士山の湧水がそれぞれの地域でどれだけの量があるのか、そしてそれをどのように有効に我々が使うべきかを考えるべき段階に来ていると思っています。



事務局からのお知らせ

平成25年度事業報告・事業計画

平成25年度の事業報告とこれからの事業計画をお知らせします。

エコアクション21取得支援セミナー説明会

5月14日(火)

静岡商工会議所・(一社)静岡県環境資源協会・静岡市主催

理事会 5月9日(木)【15名出席】

- ①平成25年度環境保全功労者表彰
- ②平成24年度事業報告
- ③平成24年度収入・支出決算
- ④平成25年度事業計画(案)
- ⑤平成25年度収入・支出予算(案)

通常総会 5月9日(木)【58社・73名出席】

- ①平成25年度環境保全功労者表彰
- ②平成24年度事業報告
- ③平成24年度収入・支出決算
- ④平成25年度事業計画(案)
- ⑤平成25年度収入・支出予算(案)
- ⑥講演会『鳥の渡りと地球環境の保全』
東京大学名誉教授 慶應義塾大学特任教授 樋口広芳氏
- ⑧意見交換会【28社・39名出席】

環境月間 6月1日(土)～6月30日(日)

- ①公害防止施設の点検整備の実施
- ②事業所内外の清掃美化の実施
- ③「環境の日及び環境月間行事実施要領」を参照の上、積極的な行事への参加。

クールビズの励行について

5月1日(水)～9月30日(月)

静岡市環境総務課から依頼

清掃活動 6月8日(土)【54社・931名参加】

環境基本法第10条の主旨に基づき地域環境美化活動に参加する。

三保真崎海岸の清掃活動

「ライトダウン2013」の実施について

6月21日(金)20時～22時(夏至の日)

7月7日(日)20時～22時(七夕・クールアースデー)

静岡市環境総務課主催

川遊び・鮎釣りセミナー 7月27日(土)

興津川保全民議会議主催

川のセミナー 8月24日(土)

興津川保全民議会議主催

打ち水大作戦 8月1日(木)～15日(木)

期間中に一度以上の実施

静岡市環境総務課主催

しづおかエコライフチェックへの協力

静岡市環境総務課主催

会員親子見学研修会 8月28日(水)【51名参加】

- ①コマツテクノセンタ
- ②中伊豆ワイナリーシャトーT.S

清流クリーン作戦

- ①藁科川クリーン作戦 8月25日(日)
- ②玉川クリーン作戦 9月1日(日)
- ③興津川クリーン作戦 9月7日(土)

静岡市清流の都創造課・興津川保全民議会議主催

植林活動

- 第1回下草刈り 6月22日(土) 雨天中止
- 第2回下草刈り 10月26日(土)

県内優良施設見学研修会 11月

環境法令基礎研修 11月

静岡県環境保全協会と共に

中部電力(株)浜岡原子力発電所の見学 12月

環境セミナー 2月

会報発行 9月・3月

会報「かんきょう」Vol.18号・19号発行

啓発活動(随時)

- ①クールビズ・ウォームビズ励行への協力
- ②静岡市・他団体の事業活動への協力

情報提供(随時)

【平成25年9月30日現在会員数】 168事業所